

入曽地区中学校統廃合検討協議会第5回会議録

- ・開催日時 平成23年10月5日(水) 午後6時30分～午後7時50分
- ・開催場所 入曽公民館3階ホール
- ・出席者 15名(欠席者4名)
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長
学校統廃合担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 1名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 統廃合対象校の選定について

(事務局) ——— 配付資料説明(略) ———

「入曽地区の中学校の概要」

「これまでの検討協議での主な意見等」

「入曽地区の中学校の統廃合に関する具体的な提案」

(委員) 入間中と入間野中は、多目的室や少人数指導教室を確保できないとありますが、造る段階でそういうことは想定されていなかったのですか。本来は適正規模の18クラスになっても、少人数指導教室などを確保できるような形になっていなければならないと思うのですが…。

(委員) 昔は、一つの教室で二人の教師が指導するティーム・ティーチングがスタンダードでした。一つのクラスを二つの教室に分けて行う少人数指導の考え方が出てきたのは、ほんの十年ちょっと前の話です。多目的室については、いつでも普通教室に転用できると理解していただいてよろしいかと思います。入間野中については、普通教室の1.5倍

の広さのコンピュータ室が 2 か所あるのですが、パーテーションで区切れば、それらの教室を普通教室に転用することが可能になります。

(議長) 少人数指導は、学級数が減って教室が余ったことによって出てきた考え方と言えます。

(委員) 少人数指導教室が確保できなかつたら、新たに造るのですか。

(事務局) いいえ。今後、学区編成を検討するうえで、これらの状況も加味していただければと考えています。

(事務局) 小さい学校で 18 クラスになった場合には、そういった問題が生じますので、学区編成の際に考慮いただければと思っております。

(委員) 学校のトイレの状況は、どのような感じですか。

(事務局) 造った時期によって古かったり狭かったりというのはあると思います。小学校の統廃合の時も、トイレ改修の要望は保護者から多く寄せられました。とくに最近では洋式化が重要視されているようです。

(議長) 委員の皆様にも、実際に目で見ていただければ、違いを認識できるのではないかと思います。

(事務局) クラス数の件ですが、入間中と入間野中はピーク時で 19 クラス、山王中はピーク時で 33 クラスでしたので、教室数いっぱいまで使っていた実績はあったようです。

(議長) 山王中は教室が足りないのでプレハブを建てていたのを覚えていません。

(委員) 入間中が建てられた時には、地元の人が土地を提供するなどいろいろな努力や苦労があったと聞いています。そういった当時の方々の思いはありますが、私は入間中廃止という事務局案で、やむなしかなと思います。

(委員) 統廃合に伴う通学区域の検討は、どこでやるのですか。

(事務局) 今後新たに提示させていただくシミュレーションの資料に基づき、まずは本協議会で検討いただければと思っています。

(委員) 良い統廃合になるように、ぜひ慎重に進めていってほしいと思います。

(事務局) 通学区と自治会等地域コミュニティは密接に関わっていますので、そういったことも踏まえたうえでご検討いただければと思っています。

(委員) 入曽地区の中学で自転車通学を認めている学校はありますか。

(委員) 入間中と入間野中では認められていませんが、山王中では認められています。

(議長) 市内全体で見れば、他にいくつかありますよね。

(事務局) 現在は、中央中、入間川中、堀兼中、西中、柏原中、山王中の計 6 校で許可されています。だいたい 2km が目安のようです。

(委員) 統廃合になれば自転車通学が認められると思うのですが、それに伴って道路の整備が必要だといった意見が私の周りにもあります。入間小の時も通学路のことで、いろいろとご苦労されたようですが…。

(議長) 踏切のあたりに縁石を設けるなど、いろいろと改良していただいたようですね。

(委員) この協議会で学区編成を決めるという話がありましたけれども、前回配られたシミュレーションの資料で検討できるのですか。

(事務局) 次回はもう少し具体的な形で出させていただければと思っています。

(委員) いろいろなパターンを出していただけるということですね。

(事務局) そうですね、もう少し絞った形で出させてもらおうかなと思っています。

(委員) 自転車通学が認められるか認められないかは大きいと思うのですが、これは校長先生が決めることなのですか。

(事務局) はい、子どもの安全を考慮したうえで、最終的には校長先生が決めます。

(議長) ケガをして歩くのが困難な場合、一定の期間自転車通学を認めるということもあります。

(委員) 私も教育委員会の案で賛成です。ただ、規模の大きかった頃に比べると、今の子ども達の方が落ち着いているような感じがして、そういう様子を見ていると、適正規模は下回っていますが、非常に良い教育がされているのかなと…。そういった面で賛成しきれない面はあったのですが、やはり入間中の狭さを目の当たりにすると、もっと広い所でやらせてやりたいなという思いが出てきます。ですから、統合したら、生徒たちが良い活動ができるようにお願いしたいと思います。

(委員) 私も事務局案でいいと思います。ただ、学校は地域の拠点になっていますので、入間小がなくなって入間中もなくなるとなれば、避難場所がなくなることにもなりますので、周辺の住民には不安があると思います。跡地利用に関しては、ここで取り上げることではないと思いますが、そういった点も同時進行で考えていかないと、具合が悪いのかなとは思っています。

(事務局) 最終的には統廃合計画の提言をいただくことになるわけですが、例えば提言の中に、教育面以外でこういった配慮が必要だという意見を付していただくという方法もあろうかと思います。

跡地利用の件に関しては、教育委員会だけでできるものではありませんので、教育面以外の問題も全て解決したうえでなければ、学校の統廃合は進められないというのは、ちょっと無理かなと思っています。

(委員) それが条件ということではなくて、そういった配慮が必要ではないかということです。そういったこともちゃんと考えていますといったスタンスを示すことが大事だと思います。

(委員) 財政の状況などを考えると、私もこの案で致し方ないとは思いますが。ただ、統廃合で通学距離は長くなりますし、自転車通学も当然危険が伴います。例えば、三商の子ども達が入間野中に通学することになった場合、基地沿いの道が通学路になると思うのですが、あそこは夕方になると車の通りが激しくなりますし、この時期は大変暗いです。前回、茶の花号の話がありましたが、やはり、そこに住んでいる人の意見というのは斬新で、実状をよく見ていると思います。ですから、ここではこの議論だけということではなくて、やはり、さまざまな事が同時進行、同時配慮のうえで進んでいくのが望ましいと思います。廃校になった入間小は親子三代で通っていましたし、入間中もなくなるとなれば、個人的な感情としては辛いですが、入曽地区のいろいろな方の意見を吸い上げながら、より良い統廃合にしていただけならば思っております。

(委員) 地域の人たちは入曽に対して強い思いを持っていますので、できれば、入間中の跡地は、地域の拠点、文化活動の拠点になるような施設にしてもらえればと思っています。

(委員) 都内にあった自分が出た学校も今はもうありませんが、やはり学校の統廃合は時代の流れでやむを得ないと思います。入間小と入間中は、たまたま条件面で統廃合の対象になってしまいましたが、これからは統廃合して良かったと思ってもらえるようにフォローしていく必要があると思います。

(委員) 生徒数や財政面など、統廃合は仕方がないのかなと思いつつ今まで聞いていました。入曽の人たちの思いもよく解かりますので、心理面などにしっかり配慮してあげれば、統廃合もうまくいくのではないかと思います。

(委員) 学校を廃校した場合、その跡地はどこが所管するのですか。

(事務局) 市長部局に所管が移りますので、例えば、政策企画課が所管して跡地利用を検討するなどといったことが考えられます。

(委員) これから考えるということですね。

(事務局) はい、現段階では白紙です。

(委員) 学校がなくなっても、この地区をこういうふうにしたいというビジョンがあればいいのですが、後は知らない、売却するかもしれないでは、なかなか感情的には難しいものがあると思います。

(事務局) 今回、入間中という案を出させていただきましたが、跡地の利用につきましては、そういったご意見も伺いながら進めていくべきものかなと考えています。

(議長) 何か「廃校」というと、いらなくなったものを潰すというイメージがありますが、基本的には「統合」ですからね。

(委員) この入間中の廃校というのは、入間中の校舎をなくすということですか、名前から含めて全部なくすということですか。

(議長) それは、これからですよ。

(委員) とりあえず校舎をなくすという意味でよろしいですか。

(事務局) 今日の段階では、そういうことです。

(議長) 極論言うと、入間野中が入間中になる可能性だってあるわけですよね。

(委員) 事務局にお願いですが、入間小の統廃合の話合いのなかで出てきた課題とか、解決できなかった点とか、問題点とか、そういった経緯を参考にしたいので、そんな資料を用意していただければと思っています。それと、自分の子どもがどこの中学に行くのかというのは保護者にとって非常に大きな問題なので、一番最短での統廃合のタイムスケジュールみたいなものも提示していただければと思っています。

(議長) 統廃合は、市議会で議決を得るなどして進めていくと思うのですが、そういったことも含め、どういった行程でどのくらいかかるのかということを示していただければと思います。

それでは、入間中学校を廃校の対象とする事務局案でこれから進め

ていくということで、委員の皆様にはご了解いただけますでしょうか。

《「はい」の声あり》 ※反対の意見は無

それでは、そのような形で進めていきたいと思えます。ありがとうございます。
ございました。

(2) その他

次回会議の日程は今後調整。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第4回会議録
- ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会委員名簿
- ◆ 入曽地区の中学校の概要
- ◆ これまでの検討協議での主な意見等
- ◆ 入曽地区の中学校の統廃合に関する具体的な提案